

北日本漁業経済学会 ニュースレター

春季研究集会のお知らせ

今年度の北日本漁業経済学会・春季研究集会を下記の通り実施いたします。会員外の方も含め、多数ご来場頂きたくお願い申し上げます。

日時：2017年5月22日(月)10:00-17:00

会場：東京水産振興会
豊海センタービル 2階会議室
(東京都中央区豊海町5番1号)

交通：東京駅または有楽町駅から豊海水産埠頭行き
終点バス停前、または、地下鉄大江戸線勝どき駅
から徒歩15分

参加費：500円(非会員の方も参加自由)

プログラム

開会挨拶	二平 章(北日本漁業経済学会会長)	10:00~10:10
一般報告		10:10~12:00
理事会		12:00~13:00

【特別シンポジウム】

サンマ資源減少に伴うサンマ業界の現状と課題
13:30~17:00
コンピナー：渡邊一功

~趣 旨~

日本漁船によるサンマ水揚量は、2010年以降減少傾向となり、2015年、2016年と2年続けて1980年以降最低の漁獲量となった。

日本漁船は、漁場が遠く、またロシア主張200海里内での問題もあり、また公海域では外国漁船との競争が発生し、操業が年々厳しくなっている。

流通加工業者にとっては単価が高く数量も少ない事から、原料不足で経営が厳しくなっている所も多いようである。さらに原料不足を補うようにサンマの輸入量が増えており、結果として外国漁船を助けるような状況にある。

一方でNPFCが批准となり、国際的な資源管理の取り組みがスタートした。

本シンポジウムは、このような状況下で、科学者、

漁業者、流通加工業者それぞれが意見を出し、現状を相互認識した上で、今後どのような対策が必要か整理し、国内サンマ業界が一体となって持続的なサンマの利用ができることを主題に開催するものである。

13:30~ 会長挨拶

13:35~ 趣旨説明

13:45~ 話題提供

1. 巢山 哲(東北水研)

“近年のサンマ資源に何が起きているか”

2. 大石浩平(全国さんま棒受網漁業協同組合)

“サンマ漁業をめぐる情勢について”

3. 緑川 聡(漁業情報サービスセンター)

“サンマの水揚量および価格推移と輸出入の状況”

4 “流通加工業者から見た課題” 報告者未定

15:45~ 総合討論 終了予定時刻 17:00

懇親会

17:15~19:15 豊海センタービル 1階レストラン「GOTO」(懇親会費4,000円)

非会員の方も参加自由

参加希望者は、なるべく5月19日までに渡邊までご連絡下さい(当日参加も可)。

一般報告の募集

春季研究集会における一般報告を募集します。希望者は氏名、所属、タイトルを渡邊までご連絡ください。締め切りは5月19日。配布資料(50部程度)は当日ご持参ください。

【連絡先】

現地実行委員長：

理事 渡邊一功(漁業情報サービスセンター)

電話：090-5322-2411

E-mail kazuwata-5252@asahinet.jp

学会設立50周年企画の募集

北日本漁業経済学会は来年8月に設立50周年となります。50周年の節目を迎えるにあたり、学会としての記念事業を行いたいと思います。会員のみならずからのアイデアを募ります。何か浮かびましたら、ぜひ学会事務局にご一報下さい!

北日本漁業経済学会 第46回大会のご案内

今秋開催の年次大会は下記のように予定しております。

日時：2017年11月10日(金)～11日(土)

* 理事会は11月9日(木)18時～

場所：北海道大学水産学部
(函館キャンパス)

11月10日(金)

【ミニシンポジウム】 9:00～12:00

テーマ：道南漁業の現状と課題(仮)

厳しい状況にある道南のホタテガイ養殖、コンブ漁業、イカ釣り漁業を取り上げ、海洋環境と資源の動向、対策の方向等について検討するとともに、函館市や檜山振興局の政策的対応についてもご報告を頂くよう調整しております。- 現在準備中 -

【シンポジウム】 13:00～17:00

テーマ：新規就業の動向とその対策の検討(仮)

コーディネーター・司会：濱田武士(北海学園大学)

趣旨

戦後、漁業就業者数は90万人を超えていたと言われている。今日までに至る時系列データとなる漁業就業者統計が整備された時点でも、その数は70万人であった。近年は言うまでもなく、著しく減少しており、16万人を割ろうとしている。閑散としている漁村が増えている。

危機感募る中、今では、かつてなかった漁業者の子孫に対する支援策も含めて、国、都道府県、基礎自治体において、様々な就業者支援対策が組まれるようになった。そうした支援策を活用して、新規に漁業に就業しようという青年層、壮年層が増えている。ただし、必ずしも、それらの対策が効果を出しているとは言えず、様々な課題がある。

本シンポジウムでは、新規就業の動向を俯瞰しながら、その対策について整理、分析し、今後の課題を抽出していきたい。

プログラム(仮)

趣旨説明：

第一セッション(行政報告)

第一報告：北海道における動向と対策(交渉中)

第二報告：青森県における動向と対策(交渉中)

第三報告：宮城県における動向と対策(交渉中)

第二セッション(研究者報告)

第一報告：大谷 誠(水産大学校)

“新規就業の全国的動向と課題(仮)”

第二報告：宮澤晴彦(北海道大学大学院)

“北海道における新規就業の実態と課題(仮)”

第三報告：杭田俊之(岩手大学)

“岩手県における新規就業の実態と課題(仮)”

第四報告：佐々木貴文(鹿児島大学)

“漁船漁業における新規就業の実態と課題(仮)”

総合討論 17:00頃終了予定

【懇親会】 詳細未定

11月11日(土) 9:00～17:00(予定)

【一般報告】

【第46回総会】

事務局からのお願い

春季研究集会中に理事会を開催します。理事・監事の方はご出席頂くようお願いいたします。

今年度分の会費未納の方はお早めに納入して頂くようお願いいたします。一般会員5,000円、学生等会員は3,000円です。

・郵便振替口座 02660-8-682

・銀行口座 北洋銀行万代町支店(普通)3206234

4月は異動の季節です。所属異動などともなう会員情報の変更のご連絡をお願いいたします。

ホームページのアドレス変更

学会のウェブサイトのアドレスが変わりました。長年利用してきた北海道大学のサーバーのシステム変更にもなう措置です。新アドレスは

<http://njfes.sakura.ne.jp/>

です。みなさんの「お気に入り」への登録をお願いいたします。ちなみに、ドメインの“njfes”は、North Japan Fisheries Economics Societyの頭文字です。

北日本漁業経済学会ニュースレター通巻107号
(発行)北日本漁業経済学会事務局

事務局長；宮澤晴彦

〒041-8611

函館市港町3丁目1-1

北海道大学大学院水産科学研究院(水産経営研究室)

TEL 0138-40-8834

(E-mail) miyazawa@fish.hokudai.ac.jp

(Website) <http://njfes.sakura.ne.jp/>

今号から、ニュースレターのデザインを約20年ぶりに変更してみました。